

年 月 日

寝屋川市長 様

住所
協議者
氏名

建設汚泥の自ら利用（現場内）に関する事前協議書

寝屋川市建設汚泥の自ら利用に関する指導指針第4条第1号に基づき、
次のとおり協議します。

1 工事名	
2 工事注文者	
3 工事場所	
4 全体の工期 汚泥発生工事の工期 処理後物利用工事の工期	
5 建設汚泥発生工種	
6 建設汚泥設計発生量 (体積・重量・密度を記載)	
7 再生処理の方法	
8 処理後物の目標品質	
9 処理後物の利用用途及 び利用場所	
10 協議者 (担当者名・電話番号)	

備考 この事前協議書は2部提出すること。

年 月 日

寝屋川市長 様

住所

提出者

氏名

建設汚泥の処理及び利用に関する計画書

寝屋川市建設汚泥の自ら利用に関する指導指針第5条第1号に基づき、
別紙のとおり提出します。

建設汚泥の処理及び利用に関する計画書 別紙

協議結果通知日		年 月 日			
建設汚泥発生・利用者	工事名			元請業者	
	管理責任者			担当者	
	工事場所			電話番号	
	建設汚泥再生処理業者				
工 事 概 要	建設汚泥の発生工種：		建設汚泥の処理方法：		
	総発生量	m ³ (m ³ /日)	工期	年 月 日～ 年 月 日	
	処理後物 利用量	m ³	発生期間	年 月 日～ 年 月 日	
			利用期間	年 月 日～ 年 月 日	
掘削地盤の履歴	工事前の土地利用：				
	地盤改良の有無： 無 / 有 (改良工法：)				
	その他特筆すべき事項：				
建設汚泥の性状	泥水状・泥土状・自硬性 (短期間で自然硬化するもの)				
掘削土の性状	土質名： 別紙 のとおり (※地質柱状図等を添付すること)				
作泥材	材料名：				材料名：
	添加量：				添加量：
掘削時の混入物	混入物の有無： 無 / 有 (混入物の内容：)				
処理後物の安全確認	処理後物の分析頻度 回/	※土壤汚染対策法施行規則別表第4に掲げる項目に係る溶出量及び別表第5に掲げる項目に係る含有量について分析すること。 ※工事仕様書等で規定された要求品質を満たすこと。 ※分析結果が基準値を超過した場合は、利用せず、産業廃棄物として適正に処分すること。			
処理後物の利用用途	現場内利用方法		処理(使用)機械等	利用量(m ³)	利用箇所・位置 (図面を添付すること。)
	1 構造物掘削埋戻し	無 / 有			別紙 のとおり
	2 道路盛土 (路床)	無 / 有			別紙 のとおり
	3 道路盛土 (路体)	無 / 有			別紙 のとおり
	4 補強土壁工盛土材	無 / 有			別紙 のとおり
	5 その他 ()	無 / 有			別紙 のとおり
処理後物利用時の目標品質	第 種処理土 (コーン指数 kN/m ²)		※利用前に建設汚泥処理土利用技術基準に規定する品質判定試験を行い、品質を確認すること。		
備考 1 この計画書は2部提出すること。 2 資料を添付すること。 3 工事完了後、処理・利用実績等を報告すること。				受付印	

年 月 日

寝屋川市長 様

住所
提出者
氏名

建設汚泥の処理及び利用に関する変更計画書

寝屋川市建設汚泥の自ら利用に関する指導指針第5条第7号に基づき、
次のとおり提出します。

工事名		工事場所	
工事注文者		注文担当者	
当初計画書の 受理日		担当者	
同文書番号		電話番号	
変 更 の 内 容			
変更前		変更後	
変更の理由			

- 備考 1 変更内容が分かる資料を添付すること。
2 この変更計画書は2部提出すること。

年 月 日

寝屋川市長 様

住所
協議者
氏名

建設汚泥の自ら利用（現場間）に関する事前協議書

寝屋川市建設汚泥の自ら利用に関する指導指針第6条第1号に基づき、
次のとおり協議します。

1	汚泥発生工事名	
2	汚泥発生工事注文者	
3	汚泥発生工事場所	
4	全体の工期 汚泥発生工事の工期 処理後物利用工事の工期	
5	建設汚泥発生工種	
6	建設汚泥設計発生量 (体積・重量・密度を記載)	
7	再生処理の方法	
8	処理後物の目標品質	
9	処理後物の保管場所	所在地： 土地所有者名：
10	処理後物の保管期間	年 月 日 ～ 年 月 日
11	利用工事名	
12	利用工事場所	
13	利用工事担当者名・ 電話番号	
14	利用用途及び利用箇所	
15	協議者 (担当者名・電話番号)	

備考 この事前協議書は2部提出すること。

年 月 日

寝屋川市長 様

提出者
発生者
住所
氏名

発生工事元請業者
住所
氏名

建設汚泥の処理に関する計画書

寝屋川市建設汚泥の自ら利用に関する指導指針第6条第4号及び第7条第1号に基づき、別紙のとおり提出します。

建設汚泥の処理に関する計画書 別紙

協議結果通知日		年 月 日		
建設汚泥発生工事	工事名		元請業者	
	管理責任者		担当者	
	工事場所		電話番号	
	建設汚泥再生処理業者			
工事概要	建設汚泥の発生工種：		建設汚泥の処理方法：	
	総発生量	m ³ (m ³ /日)	工期	年 月 日～ 年 月 日
			発生期間	年 月 日～ 年 月 日
掘削地盤の履歴	工事前の土地利用：			
	地盤改良の有無： 無 / 有 (改良工法：)			
	その他特筆すべき事項：			
建設汚泥の性状	泥水状・泥土状・自硬性 (短期間で自然硬化するもの)			
掘削土の性状	土質名： 別紙 のとおり (※地質柱状図等を添付すること)			
作泥材	材料名：		材料名：	
	添加量：		添加量：	
掘削時の混入物	混入物の有無： 無 / 有 (混入物の内容：)			
処理後物の安全確認	処理後物の分析頻度 回/	※土壌汚染対策法施行規則別表第4に掲げる項目に係る溶出量及び別表第5に掲げる項目に係る含有量について分析すること。 ※工事仕様書等で規定された要求品質を満たすこと。 ※分析結果が基準値を超過した場合は、利用せず、産業廃棄物として適正に処分すること。		
処理後物の目標品質	第 種処理土 (コーン指数 kN/m ²)	※搬出前に建設汚泥処理土利用技術基準に規定する品質判定試験を行い、品質を確認すること。		
利用工事に関する事項	工事名		工事場所	
備考 1 この計画書は2部提出すること。 2 資料を添付すること。 3 工事完了後、処理実績等を報告すること。			受付印	

年 月 日

寝屋川市長 様

提出者
利用者
住所
氏名

利用工事元請業者
住所
氏名

建設汚泥の利用に関する計画書

寝屋川市建設汚泥の自ら利用に関する指導指針第6条第7号及び第8条第1号に基づき、別紙のとおり提出します。

建設汚泥の利用に関する計画書 別紙

協議結果通知日		年 月 日			
利用工事	利用工事 担当部署名			利用工事の 担当者	
	工事名			元請業者	
	管理責任者			担当者	
	工事場所			電話番号	
利用工事 概要	引受物の 品質	第 種処理土 (コーン指数 kN/m ²)			
	総引受量	m ³ (m ³ /日)	工期	年 月 日～ 年 月 日	
	現場内 利用量	m ³	受入期間	年 月 日～ 年 月 日	
			利用期間	年 月 日～ 年 月 日	
処理後物 の 利用用途	利用用途		処理(使用) 機械等	利用量(m ³)	利用箇所・位置 (図面を添付すること。)
	1 構造物掘削埋戻し	無 / 有			別紙 のとおり
	2 道路盛土 (路床)	無 / 有			別紙 のとおり
	3 道路盛土 (路体)	無 / 有			別紙 のとおり
	4 補強土壁工盛土材	無 / 有			別紙 のとおり
	5 その他 ()	無 / 有			別紙 のとおり
建設汚泥 発生工事 に関する 事項	発生工事 担当部署名			発生工事の 担当者	
	工事名			元請業者	
	管理責任者			担当者	
	工事場所			電話番号	
備考				受付印	
1 利用前に所定の品質であることを確認すること。 2 この計画書は2部提出すること。 3 資料を添付すること。 4 工事完了後、利用実績等を報告すること。					

年 月 日

寝屋川市長 様

提出者

発生者

住所

氏名

発生工事元請業者

住所

氏名

建設汚泥の処理に関する変更計画書

寝屋川市建設汚泥の自ら利用に関する指導指針第6条第10号及び第7条第6号に基づき、次のとおり提出します。

工事名		工事場所	
工事注文者		注文担当者	
当初計画書の受理日		担当者	
同文書番号		電話番号	
変 更 の 内 容			
変更前		変更後	
変更の理由			

備考 1 変更内容が分かる資料を添付すること。

2 この変更計画書は2部提出すること。

年 月 日

寝屋川市長 様

提出者
利用者
住所
氏名

利用工事元請業者
住所
氏名

建設汚泥の利用に関する変更計画書

寝屋川市建設汚泥の自ら利用に関する指導指針第6条第10号及び第8条第5号に基づき、次のとおり提出します。

工事名		工事場所	
工事注文者		注文担当者	
当初計画書の受理日		担当者	
同文書番号		電話番号	
変 更 の 内 容			
変更前		変更後	
変更の理由			

- 備考 1 変更内容が分かる資料を添付すること。
2 この変更計画書は2部提出すること。